

綱 引 協 会

1. 平成28年度役員氏名

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1) 会 長 | 北東 俊夫 | (2) 理 事 長 | 小川 紘暉 |
| (3) 評 議 員 | 小川 紘暉 | (4) 連絡責任者 | 田川 俊男 |

2. 平成28年度活動目標

スポーツ活動の中に綱引きを普及するとともに審判技術と資質の向上を図り、富山市綱引協会と富山県綱引連盟、参加チームの連絡・親交を深め、綱引きの発展と活動を柱とする。

3. 平成28年度主な活動

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ・富山県綱引連盟総会 | 4月18日 |
| ・富山市綱引協会総会 | 4月23日 |
| ・第25回富山県スポレク祭・男女混合綱引大会審判員派遣(城端) | 5月28日 |
| ・JAPANリーグ北信越綱引交流大会審判員派遣(城端) | 7月31日 |
| ・2015大阪選抜綱引選手権大会審判員派遣(大阪) | 7月24日 |
| ・第35回富山県綱引選手権大会役員・審判員派遣(射水市) | 12月4日 |
| ・第12回富山市民体育大会綱引競技会 | 12月11日 |
| ・2017年全日本綱引選手権大会審判員派遣(東京都) | 3月4日～5日 |
| ・県内や北信越地区の各綱引大会に審判員派遣 | 年間 |

4. その他の特記事項と課題

綱引きの競技人口は低迷が続き各県同様の悩みをかかえている。大会派遣に要する経費も多く、北信越ブロック5県の交流会を北信越地区の中心である富山県が毎年開催することとなり、交流会にあわせて審判員の研修会を兼ねて行い、経費の節減も図る。

綱引の競技は、地域の運動会の花形であるワッショイワッショイと大人数で綱を引きあう綱引きではなく、8名の選手で合計体重が決められ、綱を4m自分のチーム側に引き合う競技である。チームワークが最も重要であり、練習の中でチームワークの確立や選手の育成が必要である。

また、審判員の養成が急務であるとともに普及の一環としてファミリーの部やジュニア層への綱引の普及を今後一層推進する必要がある。

・大会写真



・競技内容講習

